令和７年１月２８日
道総研　中央水産試験場

令和６年度　ニシン漁獲物調査速報（1）：厚田地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 1 月 27 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

1 月 27 日の厚田地区では、「メス」、「オス特大」の銘柄がほとんどで、「オス大」はわずかとの聞き取り結果でした。また、漁網への産卵も多くみられたそうです。

2. 銘柄「メス」の結果

銘柄「メス」の標本 46 尾中、卵巣はやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が全てでしたが、色合いにバリエーションがあり、黄色味がかなり薄いような個体もみられました。不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）の個体は皆無でした。また、卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出する（水子）ような個体（熟度 40）もみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、86.9 g（62.5～126.2 g)でした。尾叉長 31 cm 台の個体が多く（図 1)、体重 300～389 g の大型個体が中心となっていました（図 2)。

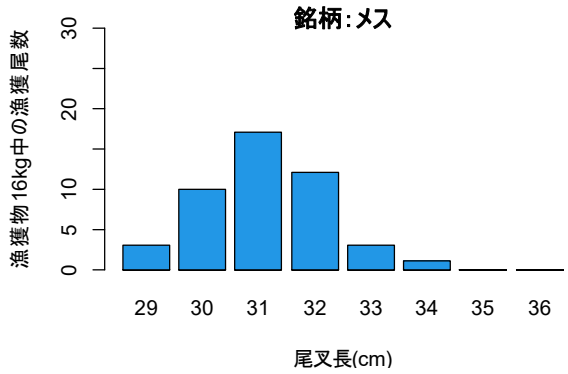

図 1　銘柄「メス」の尾叉長組成（cm）

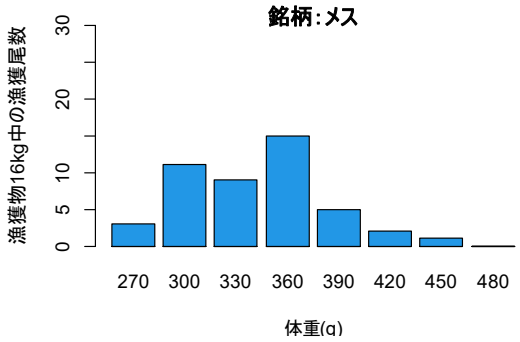

図 2　銘柄「メス」の体重（g）

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 45 尾は、精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）の個体が 43 尾、精巣は白濁しているが放精中と思われ収縮し始めているもの（熟度 30）が 2 尾でした。尾叉長は 31～32 cm のものが多く（図 3)、体重 330～389 g 台のものと 420 g 台の個体が多くみられました（図 4)。

（次ページに続く）

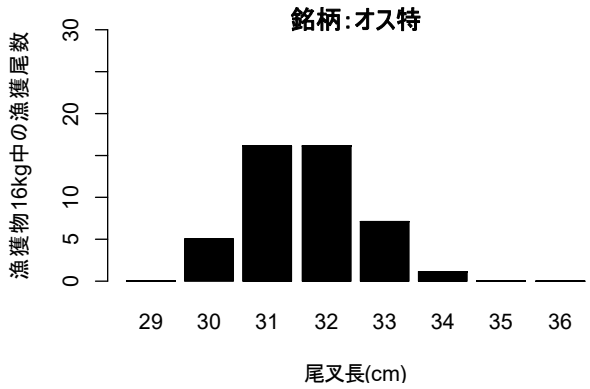

図 3　銘柄「オス特大」の尾叉長組成（cm）

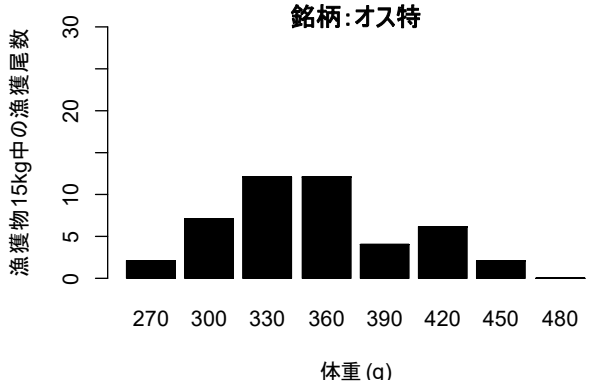

図 4　銘柄「オス特大」の体重組成（g）

結果については以上です。次回は小樽でのサンプリングを予定しております。